

Vol.
19

NPO法人 リンコップジャジャ
LINK UP JAJA

KSK JAJA REPORT

Together, We Rebuild



- 団体紹介
- 被災者支援レポート
- ジャマイカ子ども食堂 vol.8 クリスマス・スペシャル
- 支援金のお礼
- See mi yah!
- JAJA CALENDAR 2026

KSK 一九八四年八月二十日第三種郵便物承認

毎月(五・十・十五・二十・二十五日)発行

KSK通巻3856号 2026年2月10日発行 定価百円



NPO法人 リンコップジャジャ

LINK UPとはジャマイカの言葉パトワで「リンコップ」と発音し、繋がる、会いに行くという意味の言葉です。

日本の皆さんから頂く支援を活用し、ジャマイカの人たち、特に就労や社会参画の機会に恵まれない

ジャマイカの障害当事者を支援するプロジェクトに取り組んでいます。

主な事業

01 ジャマイカにおける障害者や社会的弱者の居場所づくり事業

02 ジャマイカにおける社会的弱者の自立支援を目的としたフェアトレード事業

03 音楽やアートを通じたジャマイカと日本の国際交流事業

障害者の居場所づくり事業

「全ての人に居場所を」

カリブ海に浮かぶ、緑豊かで美しいジャマイカ。近年、目覚ましい経済発展を遂げている一方で、貧困層の生活は依然として厳しく、経済格差の拡大は世界の多くの国々と同様にジャマイカでも深刻な課題となっています。日本で障害者支援に携わっていたNPO法人LINK UP JAJA代表・永村夏美は、ジャマイカを訪れるたびに社会保障制度の脆弱さ、特に障害者が置かれる厳しい現状を目の当たりにしてきました。多くの障害者は仕事に就くことができず、極度の貧困状態にあり、福祉作業所や就労支援事業といった仕組みも整っていないため、社会から孤立して暮らしています。こうした状況を前に、2021年、地域を歩いて障害者の生活実態に関する聴き取り調査を開始し、

その後「ジャマイカにおける障害者の居場所づくり事業」を立ち上げました。2023年からは「さをり織り」を通じて障害者の社会参加と就労支援を行う活動を展開しています。就労支援事業、ヘルパー制度、生活保護、障害基礎年金など、日本で障害者の権利保障を実現するための制度が、ジャマイカにはありません。補助金が全くない中で、日本の皆さんからの支援を頼りに、この障害者支援事業を行っています。日本の障害者団体の皆さんにも、何らかの形で応援いただけると嬉しいです。ホームページやSNSで現地の活動をぜひご覧になってください。皆さまからのリンコップを心よりお待ちしております！

See mi yah!

HAND WEAVING FOR JAMAICA

「居場所」「しごと」としてのさをり織り

日本の障害者団体にも親しまれる「さをり織り」は、ルールや間違いがなく、不完全さやユニークさに価値を置く大阪生まれの織物です。NPO法人LINK UP JAJAは、ジャマイカの障害当事者が地域とつながり、自分の役割や生きがいを持つこと、制作活動によって少しでも収入を得て自立した生活に近づくことを目標に活動しています。



被災者支援レポート

2025年10月28日火曜日、ジャマイカに過去最大級のハリケーン・メリッサが上陸しました。ジャマイカの南側に位置する「朝ご飯県」と呼ばれる農業が盛んなセントエリザベス県、美しいネグリの夕日が有名でジャマイカの西側に位置するウエストモアランド県、モンティゴベイ国際空港があり「観光の首都」と呼ばれるセントジェームス県などが甚大な被害を受けました。さらには、LINK UP JAJAが障害者支援活動の拠点を置くジャマイカ北海岸に面するセント・アン県でも住宅全壊などの深刻な被害が発生しています。



2023年からレゲエセクターOGAと協働で行う子ども支援プロジェクト「ジャマイカ子ども食堂」を行うベルエア地域でも数百世帯が深刻な被害を受け、自宅が全壊してホームレスになった人もいます。ハリケーン後に初めて現地を訪れた時、目の前に広がるあまりにも甚大な被害を見て、小さなNPO法人に果たして何ができるのかと絶望的な気持ちにさえなりました。それでも、当法人が地域で協働してきたコミュニティーリーダーの「少しの支援でも被災者の助けになる。行政支援はほとんど期待できない」という言葉を受け、日本にSOSを発信し、被災者支援の活動に注力することを決めました。

貧しい人たちはコンクリートの家を建てることが出来ず、木造でトタン屋根の家に暮らしていましたが、そのような脆弱な家は跡形もなく崩れてしまいました。ビニールシートを買うことすらできない人は屋根のない家に布を被せてその場をしのいでいます。コミュニティーリーダーの通称『ミス・キューティー』マージョリー・ウィリアムスさんは「雨が降るたびに、屋根がなく濡れて辛い思いをしている住人のことを思う」と胸を痛めています。

ジャマイカは観光業が主な産業ですが、ホテルが被災して閉鎖し、たくさんの方が仕事を失いました。何の補償も受けず突然一時解雇される不利な労働環境は、ジャマイカでは珍しくありません。自宅が被災した上に収入が途絶え、農場が壊滅的被害を受けたせいで野菜の価格が高騰し、まさに三重苦の生活を強いられている被災者がたくさんいます。

法人代表の永村は2011年の東日本大震災や2016年の熊本地震の際、現地で被災障害者支援の活動に参加しました。その際、被災した住宅の罹災証明書を取得して行政支援に繋げるなどの手段を取りましたが、そのような仕組みはジャマイカにありません。貧しい人たちは住宅保険にも加入できません。職を失った人への失業手当もなく、生活保護もない社会で、被災者は何とかその日をしのいでいます。セントアン県には仮設住宅が一棟もありません。

このような厳しい環境で、ミス・キューティーは住宅が全壊または半壊した住人の中から支援対象30名をリストアップしました。10名には彼女が仲間と立ち上げた財団からお見舞金を出し、残りの20名には当法人がチャリティーカレンダーの売上金を利用してブロックやセメントなどの資材購入を支援しました。必要な資材を全て購入できないので、予算を1世帯1万円程度とし、ブロック80個、合板2枚など、予算内で買える物資を購入して提供しました。支援は決して十分ではなく、ブロック400個を必要とする世帯に80個しか提供できない、合板8枚を必要とする世帯に2枚しか提供できないというのは心苦しいですが、その支援があるのとは違うとミス・キューティーは話します。

全壊住宅の復旧のような金額が大きいケースに関しては、ダメ元で行政に掛け合おうとチームで話し合いました。貧しい人たちは行政サービスへのアクセスが乏しく、窓口での交渉も苦手なため、資料作成や省庁への同行も被災者が行政支援を獲得するための必要な支援です。LINK UP JAJAは被災者に同行して省庁にて支援の申請を行いました。「ソーシャルワーカーが被災者の自宅を訪れてアセスメントを行います。時間がどれくらいかかるか、どのような支給決定が出るかは何とも言えません」との返答で、迅速で適切な行政支援を受けることは難しいと感じました。ただ待っているわけにいけないので「できることはどんどんやろう」と明日(大晦日)もコミュニティーリーダーと支援活動を行うこととしました。



LINK UP JAJAは引き続き、日本の皆さまから頂く支援金やチャリティーカレンダーの収益を利用して、支援活動を続けます。活動の様子は随時SNSで更新していますので、インスタグラムやフェイスブックでも見て頂けると嬉しいです。

ジャマイカ子ども食堂 vol.9

クリスマス編2025

OGA from Jah WorksはInstagramの収益を運用して、2023年からNPO法人LINK UP JAJAと協働で「ジャマイカ子ども食堂」を行っています。OGAがジャマイカで活動拠点とするのは、当法人が同じく活動を置くセントアン県です。「ジャマイカ子ども食堂」は子どもたちに食べ物を振舞ったり就学支援を行ったりするチャリティープロジェクトで、今年のクリスマス編は子ども食堂第8回の開催となりました。

取り組みを行う貧しい地域では、誕生日やクリスマスを祝うことができない子どもがたくさんいます。特に今年はハリケーンの影響で親御さんたちが厳しい状況にあるため、そんな時こそ子どもたちにクリスマスを楽しんでもらいたいと、早い時期からクリスマス会を計画していました。去年はケーキとプレゼントを子どもたちに用意しましたが、今年は親御さんにも支援物資を提供したいとOGAから提案があり、40個のプレゼントに加えて40個のケアパッケージ(食料や生活必需品の詰め合わせ)を用意しました。子ども40人にふるまう大きなケーキに加えて、今年は大人用にラム酒とワインがたっぷり染み込んだジャマイカ独特のクリスマスケーキも用意しました。さらには、会場を盛り上げるためDJを呼んで音楽を流し、子どものフラフープコンテストや大人のDJコンテストを行って、大人も子どもも楽しめるクリスマス会となりました。プレゼントを配布する際、喧嘩する子どもたちを叱って整列させましたが、それでも40個のプレゼントはあっという間になくなり、プレゼントをもらえない子どもたちがっかりする場面もありました。DJの音楽を聴きつけて昨年よりたくさん子どもや大人がやってきたので「来年はプレゼント100個いるね!」とミス・キューティータと話したくらいです。喜んだのは子どもだけではなく、地域の大人も音楽を楽しみ、会場となったバーではたくさんお酒が売れて、経済効果も◎。住民の男性から「楽しい時間を提供してくれてありがとう!」と嬉しい言葉をもらいました。

ジャマイカではどんな人を支援する時も貧困の問題と向き合います。経済的貧困はもちろん苦しいですが、文化的・精神的貧困、人権が保障されない不平等な社会の仕組み、ゆがんだ世界経済のあり方が人々を貧困のサイクルに追いやっていると、支援活動を行う中で学びました。貧しい人たちは学校に通えなかったり、精神的または身体的暴力を受けたりと、幼少期や成長期に過酷な経験をしている人が少なくありません。実際、私たちが就学支援をする子どもの中にも、交通費がないため毎日学校に通えない子どもがいます。このような大変な環境ではありますが、年に1度のクリスマスプレゼントや新年度に贈る新しい制服が、子どもたちに少しでもポジティブな影響を与え、将来彼らがたくましく成長して人生を謳歌してくれることを願っています。子どもたちはプレゼントのままごとセットや縄跳び、サッカーボールをその場で出して、楽しそうに遊んでいました。大きなクリスマスケーキを見た時の子どものきらきらした眼差しは忘れることができません。OGAちゃん、OGAファンの皆さん、本当にありがとう! More Love!



OGAWORKS RADIO



@ogajahworks

支援金のお礼



OKINAWA SAKAEMACHI

ジャマイカハリケーン復興支援チャリティーパーティー 「ユイマール ～うちなーからチムグクルをジャマイカへ～」

那覇の栄町にあるダンスホール酒場サンキューで、地元のレゲエ関係者有志の方々が復興支援チャリティーパーティーを開催し、集まった寄付金321,156円をNPO法人LINK UP JAJAに託してくださいました。当法人の活動をSNSで見ると寄付先に選定していただき、有難く思っています。

沖縄とジャマイカはどちらもトロピカルな気候で、音楽と踊りが好きなどところも似ています。沖縄で「もあい」と呼ばれる、友人などが毎月定額を積み立ててその中から順番に1人が全額を受け取る相互扶助の金融システム（沖縄では現在はふつうに飲み会化しているそう）は、ジャマイカでは「パートナー」と呼ばれ、現在でも特に貧しい人たちの間で重要な役割を果たしています。人数が多ければ積立金が大きくなる分、自分に支払われるサイクルは長くなりますが、緊急的な出費がある場合は支払いの順番を少し早めてもらうこともできるそうです。また、沖縄の「なんくるなるさ」の精神はジャマイカの “No Problem Jamaica” と同じで、美しい海に囲まれる小さな島の不思議な繋がりを感ずります。

沖縄からジャマイカに届いた温かい愛をジャマイカの人たちに確実に届け、支援内容をご報告させていただきます。ダンスホール酒場サンキューに集まった皆さまに心から感謝申し上げます。支援を現地に届ける様子を随時SNSでもアップしていますので、ぜひご覧ください。



ジャマイカハリケーン
復興支援チャリティーパーティー

ユイマール

～うちなーからチムグクルをジャマイカへ～



2025.12.16 tue start 17:00

@ ダンスホール酒場サンキュー

DOOR 2,000yen+1drink order

(入場料はすべて支援金に寄付)

Live

U-DOU, PLATY
IRIE BAND
JUICY MAN
BUDDHA STICK
MAN-G, 石垣吉道

Selector&Sound

GRIGRI, TAKA-C
madie:madie crew
YO-C, MATSU-01
LOUIE, SMILE SOUND

宗教法人 真如苑

2024年度NPO法人LINK UP JAJAが助成を受けた関西NGO助成金のスポンサーでもある真如苑から、ハリケーン被災者支援のための支援金30万円を頂き、発電機の購入や支援物資の提供に充てさせて頂きました。セントアン県内で停電から1カ月以上たっても電気が復旧しない中、コミュニティリーダーが発電機を得て、店舗の冷蔵庫を利用して地域住民が冷たい飲み物や生鮮食品を保存できるようになったことは大きな喜びでした。ジャマイカでは平常時でもよく停電するため、発電機は今後も様々な場面で活用されます。また、甚大な被害を受けたジャマイカ南部のセントエリザベス県で行った支援物資提供時には「被災後初めて支援物資を受け取った」と話す人もいて、取り残されて支援が届いていない地域に支援を届けることができました。当法人のSOS発信を受けて迅速にご対応くださった真如苑さまに心より感謝申し上げます。



特定非営利活動法人 被災障害者基金 ゆめ風基金

ゆめ風基金は主に日本国内で被災した障害者を支援する基金で、とにかく迅速に支援を届けることを心掛けておられます。今回当法人からのSOSを受けて緊急理事会を開催し、50万円の緊急支援金の支給決定をしてくださいました。

ゆめ風基金は障害者を支援する基金で、当法人もジャマイカの障害者を支援するプロジェクトを行っていますが、この度のハリケーン被災者支援を行う中で「障害とは何か」を問わずにはいられません。住宅保険も義援金も仮設住宅もない状況で、目の前の貧しい被災者は十分な食べ物を買うこともできず、防風で屋根が飛ばされた家の片隅で雨をしのいでいます。家が全壊してホームレスになった独居の高齢者は、がれきの中に潜って寝ていました。この人たちに「省庁で何らかの支援を受けられるそうですよ」と伝えても、省庁に出向く交通費がありません。省庁に辿り着いたとしても文字の読み書きが苦手で申請書に記入できないかもしれません。職員に「被災したことを証明する写真を提出してください」と言われてもスマホを持っていないし、被災状況を証明する写真を撮るというアイデアを持っていません。今回のハリケーンのような自然災害時にはいつだって、障害者や貧しい人が復興から取り残されて、被災以前にあった貧困や生きづらさに根付く問題が表面化します。私たちが支援する人たちも、高齢、足に怪我をして働けない、若くて元気そうに見えるけれど精神的な持病を持っているなど、様々な生きづらさを抱えています。ゆめ風基金は、特に外国における被災者支援では必ずしも障害者手帳を所持していなくても支援対象とするため、目の前のニーズに柔軟に対応して支援活動を行うことができました。ゆめ風基金さまの迅速で寛大なご対応にお礼を申し上げますと共に、今後ともご支援頂きますよう心からお願い申し上げます。



See mi yah!

-ジャマイカで障害のある人と取り組む手織りプロジェクト-

自閉症のデマリオが、初めて自分で布を一本織りあげました。2023年4月から始めて、当初はシャトルを握ってもどうしていいかわからず戸惑い、支援者がひとつひとつの作業を補助していました。今では、時折ヘルプを必要とするものの、シャトルを左右へ動かして足でペダルを踏み変えるという作業が自分でできるまでになりました。休み時間になると売店へ飛んで行ってお菓子を買いに行きますが、食べ終わると自ら織り機の前に座って再開しようとします。制作の喜びが彼の中で芽生えたのは明らかで、長く続けることの大切さを学びました。

ハリケーン以降しばらく手織り講座を再開できずにいましたが、教室を間借りしている支援学校が再開し、電話回線が少しずつ復旧したことを受けて、12月の頭に手織りプロジェクトを再開することができました。幸い私たちのなかまに深刻な被害を受けた人はいませんでしたが、支援学校の学生の中には自宅が全壊して親戚のいる首都に身を寄せる者もいます。毎年支援学校ではクリスマスディナーを開催し、学生や保護者がドレスアップして夕食を楽しみますが、今年は学校が被災して屋根の修繕などで出費がかさんだこと、親御さんがハリケーンの影響でディナーの負担金を支払えないことから見送りとし、その代わりに学生がクリスマスキャロルを歌ったり短劇を披露したりするお楽しみ会を行いました。NPO法人LINK UP JAJAからはささやかなプレゼントとしてクリスマスケーキを贈り、みんなで少しずつ分けて食べました。

限られたスペースと人員で取り組んでいるため手織りプロジェクトをなかなか拡大できずにいますが、細々とでも続けることで障害を持つなかまの居場所を守っていきたくと思っています。今年も日本で展覧会の開催を考えていますので、その際には遊びに来ていただけると嬉しいです。



JAJA CALENDAR 2026

2026年チャリティーカレンダーのご購入と販売協力をありがとうございました。今年はカレンダー入稿直前にハリケーンが発生し、表紙のタイトルを急ぎ「Together, we rebuild」(みんなで一緒に建て直そう)に変更しました。皆様のご協力のお陰でカレンダーの売上金を利用して被災者の自宅修繕の資材購入費用などを捻出することができました。本当にありがとうございます。Nuff Respect!

【JAJA CALENDAR 2026 販売協力店/団体】

関西

Half Way Tree @@jamaicangrill_halfwaytree
WAKABA' USED&STREET GEAR @@wakaba_usg
Totally Retro @@totallyretro
Corner Shop @@perverseiq
Whatever @@whateverreggae_2005
Hostel Chillax @@hostel_chillax_osaka
Grass Roots @@grassroots_osaka
HOI HOI @@hoihoisakiko
Jamboree @@smile.jamboree
満家 HAPPYFOODLIFE @@munch_happy_food_life
PRINT SHOP WOODYS @@printshop.woodys.sakai
RUB A DUB @@rub_a_dub_kyoto
アイリーノポリタイ @@nobaritai
NPO法人いちいちまる @@ichi.ichi.maru
特定非営利活動法人自立生活夢宙センター @@muchu.center.1053
NPO法人日常生活支援ネットワーク パーティ・パーティ
音太小屋(NETAGOYA)
社会福祉法人ひまわり
特定非営利活動法人出発のなかまの会
社会福祉法人ちいるば会
NPO法人ちゅうぶ @@npochubu
小川珈琲 @@ogawacoffee
JaxJa House @@jajahouse2019

その他地域

北海道 ハチドリ食堂 @@hachidori_syokudou
茨木 HAMANDA @@hamanda.emperorhill
新宿 ONE LOVE @@onelove_shinjuku
新宿 Reggae / DUB club OPEN @@reggae_dub_club_open
渋谷 虎子食堂 @@toranokoking
神奈川 Cool Runnings @@coolrunnings045
神奈川 海の家OASIS @@oasis_jahnodebeach
名古屋 Bar Irie @@bar_irie_nagoya
熊本 WAH GWAAN @@wah_gwaan.ueki
熊本 Juicy's Café @@juicyscafe_bb
沖縄 Cocococonut @@cocococonutshop



Special Thanks: OGA @@ogajahworks

JAJA会員さん大募集!

NPO法人LINK UP JAJAを支えてくれている皆さん、本当にありがとうございます。

お陰様で、お陰様で、2020年12月に発足したNPO法人LINK UP JAJAは2026年4月1日を以って7年目(令和8年度)を迎えました。法人の活動は、皆さんから頂く年会費や寄付金を利用して運営しています。年会費は3,000円で、会員の皆さんには年に4回会報「JAJA REPORT」を郵送し、法人の活動についてご報告しています。

NPO法人LINK UP JAJAの年度は毎年4月から翌年の3月で、年会費は銀行振込やクレジットカード決済でも納めて頂くことができます。ジャマイカでの取り組みを続けていくため、また、取り組みを発展させ持続可能な形にしていくために、皆さんの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

銀行振込で寄付金や会費を納めてくださる皆さまへ

ご入会をご希望される方は年会費3000円をお振込み頂き、info@linkup-jaja.org にメールをお願いします。本文に【①振込名義人 ②振込金額 ③お振込日 ④会報送付先のご住所とお名前 ⑤領収書を希望される方は「領収書希望」とご記入ください。領収書はPDFファイルで送付させていただきます。**メールを頂けませんと会報を発送することが出来ませんので、ご注意ください。**温かいご寄付も下記口座までお願い致します。

振込先: 楽天銀行 第三営業支店(支店番号 253)

(普通) 7194483 エヌピーオーハウジンリンコップジャジャ

クレジットカード決済で楽ちん! Syncable

NPO支援のプラットフォームSyncable(シンカブル)では、クレジットカード決済で会費を納めて頂ける他、自動更新を選んで頂くと毎年度自動的に会費を納めて頂くことができます。NPO法人LINK UP JAJAの年会費(3,000円)の引き落とし日は毎年3月1日です。単発の寄付をして頂くこともできます。

<https://syncable.biz/associate/LINKUPJAJA>

Syncable



～会員登録の流れ～

①サイトにアクセス

②「年会員になる」を選択

③必要事項を記入

④お支払い
会員登録完了!



編集人: NPO法人LINK UP JAJA

コロナ禍真ただ中の2020年、ジャマイカを支援するため立ち上がる。コロナによる経済的被害に苦しむものづくり職人を「フェアトレード事業」という形で応援。2022年、仕事に就けず貧困で社会との繋がりを持ちづらいジャマイカの障害者を支援するため事業を立ち上げ、活動の柱とする。障害を持つ人と手織りやアートに組み、彼らが社会から排除されず、地域の中で認められて自分らしく生きることを目指して支援している。

NPO法人LINK UP JAJA(リンコップジャジャ)

大阪府大阪市鶴見区鶴見2丁目22番5-603号

info@linkup-jaja.org

WEB <https://linkup-jaja.org/>

NPO法人LINK UP JAJA

リンコップジャジャ

@LINKUPJAJA